

一般的な指導及び監督指針12項目（国交省告示1366号）  
 「項目⑨ 運転者の運転適性に応じた安全運転」 理解度チェック

実施日	受講者名	管理者	指導者
令和 年 月 日 ( )		印	印

問題①

適性診断は、新たに運転者として選任されたものが受診する [ ] 、65歳以上の運転者が受診する [ ] 、事故惹起者が受診する [ ] 、一般診断がある。

- ①特定診断Ⅰ・Ⅱ ②適齢診断 ③事故診断 ④初任診断 ⑤安全診断

問題②

適性診断を受診し、動作の [ ] さ、判断・動作の [ ] 、注意の配分、視覚機能、安全態度・ [ ] など、様々な角度から自分の特性を理解し、[ ] に役立てること。

- ①正確 ②安全運転 ③トレーニング ④タイミング ⑤危険感受性

問題③

長い待ち時間等の運転状況、道を間違えるなどの思いがけないミス、無理な指示を受ける等の外的な圧力、せっかちな性格などにより、[ ] に陥りやすい。急ぎの心理に陥ったら、[ ] おいて感情を [ ] し、焦りや感情に流されず、常に冷静で安全な運転を心がけること。

- ①居眠り ②急ぎの心理 ③コントロール ④一呼吸 ⑤無呼吸

項目⑨ 運転者の運転適性に応じた安全運転 まとめ

- ・適性診断を受診し自身の特性を理解する
- ・診断結果を踏まえ運転に活かす
- ・焦りや感情に流されず冷静に判断する

結果	受講者が気づいたこと
/ 10	
指導者からのコメント	